

～高所作業における酷暑対策～ ミズノ製ワークウェアを全社導入(8,000名) ファン付きウェア 8,000着、夏用高通気性シャツ 16,000着

三菱電機ビルテクノサービス株式会社では、2022年1月2日から施行される高所作業での「フルハーネス型墜落制止用器具」の使用における法改正に対応するため、ミズノ株式会社が開発した「フルハーネス」対応のワークウェア(「ファン付きウェア」、「夏用高通気性シャツ」)を2020年7月から全社導入します。

今回、導入するワークウェアは、エレベーターの昇降路や空調設備のある屋上等で保守・工事等を行うエンジニアの酷暑対策として導入します。「ファン付きウェア」はミズノ製「エアリージャケット」です。「夏用高通気性シャツ」は、当社が従来着用していた作業服のデザインをベースにファンの通気性を最大限に発揮するように生地素材なども含めて改めてデザインされたミズノ製のオリジナルシャツです。

エンジニアは一日に複数の現場を移動することが多いため、作業着には着脱性を重点に通気性や耐久性を求めています。「夏用高通気性シャツ」を着た状態で「フルハーネス」を装着し、その上に「エアリージャケット(ベストタイプ)」を着用するだけで着替えは完了。その場で作業を行うことができます。

今夏も猛暑到来に備えるため、当社および協力会社の約8,000名にミズノ製ワークウェア(エアリージャケット・ベストタイプ8,000着、夏用高通気性シャツ:16,000着)を配布します。



▲夏用高通気性シャツ・フルハーネスの装着時

▲エアリージャケット(ベストタイプ)の装着時

【エアリージャケット】

両脇のファンから空気を送ることで汗を気化させ、首の前後や両腕から通り抜ける設計で涼しさを保つことができます。また、体表を冷やすことで余分な汗をかかずに、体力の消耗を抑える効果も期待できます。

【フルハーネス型墜落制止用器具】

高所作業を行う際に着用する墜落制止用器具です。肩や腿、胸など複数のベルトで構成されることで、身体が安全帯から抜け出すことや、胸部・腹部を過大に圧迫するリスクを低減します。

【報道関係者からのお問い合わせ】

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 広報室：内田、宮本
Tel：03-5810-5280 Mail：a_meltec-kouhou@meltec.co.jp

ミズノ株式会社 ブランドマーケティング部
メディアコミュニケーション課：小山、山本
Tel：03-3233-7037 Mail：kouhou@mizuno.co.jp

【導入の経緯】

2022年1月2日から、6.75m以上の高さ(建設業は5m)で作業する場合は「フルハーネス」の着用が法的に義務付けられることが決定しており、従来型のファン付き作業服の上から「フルハーネス」を着用した際、両肩や胸などをベルトで固定するため服内の空気が循環せず、涼しさを感じられない問題がありました。また、「フルハーネス対応」のファン付き作業服は他メーカーから販売されていましたが、当社エンジニアは一日に複数の現場で作業することが多く、ファン付き作業服を着替える(フルハーネスを脱ぐ)と作業場所(マンションや公共施設等)で肌着姿になってしまうため、着脱のしやすさが最重要課題でありました。

この課題を解決するためミズノ社は、特殊素材を用いた専用の作業服を着用した後に、「フルハーネス」を装着し、その上から「エアリージャケット(ベストタイプ)」を着ることで、肌着姿にならずとも着替えが可能な運用を提案。社内での試着会・社員アンケートで好評であったことからミズノ製の導入が決定しました。

【導入製品の一覧】

エアリージャケット・長袖タイプ	4,000枚	1人1枚 ※非高所作業者向け
エアリージャケット・ベストタイプ	8,000枚	1人1枚 ※高所作業者向け
夏用高通気性シャツ	16,000枚	1人2枚 ※高所作業者向け

【エアリージャケット・夏用高通気性シャツ：設計・素材の特徴】

◇「エアリージャケット」<長袖・ベストタイプ>

ミズノの「エアリージャケット」は、独自のパターン設計で空気の流れをコントロールすることで、首筋や腕までしっかりと衣服内の空気を循環できる仕組みとなっています。加えて、創業以来100年以上にわたって培ってきた人間工学に基づき、人間の関節の動きを妨げることなく、動きやすい『ダイナモーションフィット』設計となっています。

夏の作業時に気になる汗のニオイを軽減させるため、『ミズノデオドラント』を首元や脇に採用し、より快適に作業ができます。ベストタイプは、「フルハーネス型落下防止用器具」を装着した状態でも長袖と同様に「涼しさ」「動きやすさ」はそのままに、「脱着し易さ」を考慮し設計されています。

◇「夏用高通気性シャツ」

「エアリージャケット」の効果を最大限に発揮させるため、ミズノの夏用素材『エステルドビーライト』を採用しました。この生地は、「JIS T8118 静電気帯電防止作業服」に適合した素材です。

エアリージャケットと同様に、『ダイナモーションフィット』機能と『ミズノデオドラント』機能を搭載し、作業時の快適性を追求しました。

動きを自由にする、3次元フィット。

DynamotionFit

ダイナモーションフィット

動きやすさを生むウエア設計。



人間工学に基づき、動きやすさを徹底追求した、ダイナモーションフィット。

3DCGや解剖学によるスポーツの動作解析を基に、作業時の動きやすさを徹底追求したウエア設計。引きつれや圧迫感を軽減し、体の自由な動きをサポートします。

Mizuno DEODORANT

ミズノデオドラント

イヤな臭いを除くテクノロジー。



消臭のメカニズム

臭気中の専属粒子 → フィルム → 中和無臭化

汗臭、加齢臭の成分を中和無臭化
100回洗濯後でも効果持続

スポーツシーンでの汗臭を考慮した「ミズノデオドラント」を企業ユニフォームへ採用。接客時に特に気になる、汗臭、加齢臭の成分を消臭します。

【ご参考】

【会社概要】

- 社名：三菱電機ビルテクノサービス株式会社
- 代表：取締役社長 林 美克
- 設立：昭和 29 年 3 月 29 日
- 社員数：10,173 名（2020 年 4 月 1 日現在）
- 資本金：50 億円
- 本社：東京都荒川区荒川 7-19-1
- 売上高：3,455 億円（2019 年度）
- 事業所数：約 280 箇所
- 事業内容：トータルビルシステム事業（エレベーター・エスカレーター、空調冷熱機器等ビル設備等の販売、据付、保守、故障修理、改修、遠隔監視・制御、コンサルティングやリニューアル等）

- 社名：ミズノ株式会社
- 本社：大阪本社 大阪府大阪市住之江区南港北 1 丁目 12 番 35 号
東京本社 東京都千代田区神田小川町 3 丁目 22 番地
- 社長：水野 明人
- 従業員数：3,838 名（連結・2020 年 3 月 31 日現在）
- 創業：1906 年 4 月 1 日
- 資本金：261 億 3,700 万円（2020 年 3 月 31 日現在）

【ミズノのワークビジネス】

ミズノは、1997 年よりスポーツ品開発で培った技術や知見を活用した別注の企業ユニフォームを企画・販売する専門部門を設置し、これまで約 500 社以上に納品しています。企業などからの需要を受け、2016 年 3 月からワークシューズを、2018 年 2 月からワークアパレルを本格的に展開。2019 年 4 月にはワークビジネス事業部という専門部署を新設し、ワークビジネスを強化しています。近年ではスポーツ業界もワークビジネス業界に参入しており、その中でも他社との差別化をするために総合スポーツメーカーならではの優位性をいかしたオリジナルワークウェアの提案を強化しています。ワークシューズやワークアパレルなどワーク関連の 2019 年度売上実績は約 53 億円で、2021 年度 100 億円を目指します。